

2013.5.27青年協最高裁交渉！！

時の窓

青年協は、5月27日、常任委員・オブザーバーの合計14名で、「諸要求貫徹闘争期における全司法青年協統一要求書」に基づき、青年の要求実現をめざし、最高裁・朝倉給与課長と交渉を実施しました。

交渉に先立ち、「青年の暮らしむきアンケート」の集計結果及び四つ葉のクローバーを象った「一人一言要求」を当局に手交し、交渉では、全国の青年の声を基に、賃金・諸手当の改善、労働条件の改善、健康診断の改善などについて、常任委員・オブザーバーから青年の切実な要求を当局にぶつけました。

「一人一言要求」は、700枚近くも集まりました。協力していただいた全国の皆さん、本当にありがとうございました。

◆ワンポイント 諸要求貫徹闘争期とは？◆

8月に出される概算要求(最高裁が財務省に対して予算要求を提出)にむけて、各職場の要求を概算要求へ反映させるためのとりくみをすすめる時期です。最高裁は6月に全国長官所長会を開き、裁判所における基本政策と概算要求方針を討議します。そのため、この概算要求に各職場の要求を盛り込ませて、要求の実現をめざします。

161号



2013/8/9

～交渉結果抜粋～

青年協)

青年層における受検項目増加をはじめとした健康診断の充実という観点から職員厚生経費の増額を関係機関へ働きかけるよう要求します。

その上で、健康診断についてですが、ガンや生活習慣病は我々青年にとっても非常に高い関心を持っています。これらの病気については、早期発見のためにも健康診断の受診を促進することはもちろん、健康診断項目の充実についても検討してほしいです。また、血液検査の受検を望む青年の声が非常に多く出ています。職員の健康を守るという観点からも血液検査を行えるように検討してください。血液検査に限って言えば、献血を実施することで同様の検査項目を受検することができるかと思いますが、職員の健康を管理するものとして、そういった啓蒙活動などが必要だと考えています。

最高裁)

職員厚生経費については、昨年度から各府省の受診実績等に応じた予算要求ができる方法に変更され、一般定期健康診断等の受検率が他の行政府省と比べ非常に高い裁判所の実情に合った必要な予算を確保してきたところである。今後も健康診断を将来にわたって安定的に実施するために必要な予算を確保していきたいと考えているが、昨今の厳しい財政事情の下で、裁判所のみが職員厚生経費の大幅な増額を求めていくことは極めて困難な状況にあることは理解してもらいたい。

交渉結果の詳細は、
Network No.156をご覧ください。



全国の青年の「一人一言要求」を
最高裁当局へ手交しました。

全司法青年協

検索



第4回常任委員会開催

青年協は、5月25日～27日にかけて、第4回常任委員会を開催しました。

常任委員会では、3月から5月までの間(第3回常任委員会以降)に各地で開催された会議や地連主催の友好祭典について各常任委員からの活動報告がなされたほか、次年度運動方針(案)の討議、諸要求貫徹闘争期における統一要求書を確立しました。そのほか、「一人一言要求」の集約・分析を行い、現場で働く青年がどのような要求を持っているのか把握したほか、8月末に開催する第23回定期総会にむけての準備等も行いました。

また、今回も、本部森田書記長を講師に学習会を開催し、「公務員の賃金と政治との関わり」というテーマで、人事院勧告制度について、非正規労働者の勤務実態、最低賃金制度など賃金を中心とした学習を行いました。

●オブザーバーの感想 ～常任委員会・最高裁交渉に参加して～

■愛知支部 前野 宏和 さん

毎年何となく「青年の暮らしおきアンケート」や「一人一言要求」を書いてきましたが、それらが最高裁当局に提出され、青年の声をもとに交渉が進められるのを目の当たりにして、とrikみん意義を実感することができました。

常任委員会はとてもアットホームな雰囲気、常任委員の方と情報交換することができました。知り合いに誘われてのオブ参加でしたが、参加してよかったです♪

■岐阜支部 酒井 弘剛 さん

常任委員会では、普段なかなか知ることのない各地域のとrikみんなどを知ることができ、また、交渉においては、普段の青年協の活動がどのような形で交渉に活用されているかを感じられただけでなく、自身の生活状況についても、発言させていただきました。

非常に貴重な体験をさせていただいたので、今後の活動に生かしていきたいと思います。

■富山支部 浦瀧 新平 さん

常任委員会では、各地の常任委員やオブザーバーの方々から、各地の貴重なお話を直接聞くことができ、とても良い経験となりました。

また、給与課長との交渉では、富山支部の組合員の声を直接届けることができました。今回の経験を今後の活動に活かすのはもちろん、自分が見たこと聞いたことを少しでも仲間に伝えていきたいと思っています。

■広島支部 山戸 優明 さん

今回初めて青年協の常任委員会、最高裁交渉に参加しました。初めは、どんなことをするのかもわかりませんでした。しかし、会議に参加してみて、様々な職場での問題や意見を聴くことができました。最高裁交渉では、とても緊張しましたが、自分の生活実態や意見を伝えることができ、普段体験することのできない貴重な経験させてもらい、参加して良かったと思いました。

■愛媛支部 島内 雄司 さん

まず、給与課長交渉に参加させていただくという機会をいただいたことに感謝したいと思います。

次に、全国の裁判所の問題点を知ることができ、他の裁判所で起こっていることを知るといふ普段はできない経験ができたことは非常に有意義でした。さらに、実際に制度を運用する当局と交渉するという貴重な経験をさせていただきました。自らの支部において、提出のあった意見を直接ぶつけることができたことも大変よかったです。

また、日常送付を受けている、「時の窓」や「ネットワーク」の書面に対する見方が変わりました。これは、作成の過程に参加させていただいたことによるものと思いますが、このような体験を、次世代の青年層に引き継いでいかないといけないと感じました。

最高裁交渉の様子！！



青年協常任委員
& オブザーバー